

「令和５年度 市民トーク」開催結果（片浜地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月18日（火） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 片浜コミュニティ防災センター
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 34人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布

4 当日の様子



令和5年度 市民トーク（片浜地区）提出の質問・要望一覧

日時：令和5年7月18日（火）

19時～20時30分

場所：片浜コミュニティ

防災センター

番号	事 項 名	担当課
1	国道150号線バイパス道路について	建設課
2	堀切川・大磯川における川底の土砂浚渫について	建設課
3	堺川の治水対策について	お茶振興課

令和 5 年度 市民トーク

片浜地区（7/18 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1.国道 150 号線バイパス道路について
内 容	現在、片浜区の主要な幹線道路は東西に 150 号線が走っているだけである。堀切、久保柄、大磯は旧道と 150 号線が並走しているが、法京、坂井地区には 150 号線のみである。朝晩の交通量は激しく、通勤、通学に交通事故が心配される。また、この状態は、災害時の避難、復旧時の大きな妨げになることが考えられる。 30 年、40 年前に 150 号線バイパスの話が持ち上がったが、当時は地元住民の強い反対があり頓挫したと聞いている。150 号線バイパスは、西は大沢地区まで延び、東は静波のコンビニ付近から吉田の海岸線近くを通り焼津までと続いているが、この間が欠落している。 30 年前、40 年前とは地元住民の考え方、地元地区の生活ぶり等は大きく変わってきている。特に、地震津波への危機意識や防災意識も変わってきていると思われる。 そこで、150 号線バイパス建設について市の考え方、進捗状況、見通し等について伺う。 【建設課】
回 答	国道 150 号（片浜区間）は、朝晩は交通量が多く、う回路もないために慢性的な交通渋滞が発生しており、これまでも交通事故などの際には、通行に大きな支障が発生しております。 市としましては、このような状態を改善するため、近隣市町と国道 150 号バイパス建設促進期成同盟会を組織し、国や県に早期整備の要望活動を行っております。特にう回路のない片浜～大沢区間の事業着手を優先的に実施していただくよう強く申し入れておりま

	す。 こうした要望を受け、県は、昨年度から未着手区間の事業費を算出するための業務を発注し、現在道路計画の見直し案を作成しております。 また、平行して、関係する御前崎市、吉田町とともに事業主体である県と、事業化を目的とした勉強会を開始し、志太榛原地域の道路交通ネットワークを検討する中で、150号バイパス未整備区間を整備すべき優先区間として整備促進していくことを確認しました。 さらに、整備促進するうえで、片浜、大江、大沢の各区で意見交換会を実施し、片浜区におきましては本年1月に役員の皆様を対象に開催いたしました。 この話し合いの中で、早期整備を望む意見が多数あり、市としても大変心強く感じたところであります。 今後におきましても、引き続き国や県へ整備促進に対する要望を積極的に実施していくとともに、関係市町との勉強会や意見交換の開催など、早期事業着手に向けて取り組んでまいります。
--	---

令和 5 年度 市民トーク

片浜地区 (7/18 開催)

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2.堀切川、大磯川における川底の土砂浚渫について
内 容	3 年前の、令和 3 年度だったと記憶しているが、市が片浜区内の 4 本の川（堀切川、ラムネ川、寺川、滝の川）の浚渫をしてくれた。 堀切川は、旧道から南側の浚渫であった。現在、堀切川は、旧道の南側と北側にもかなりの土砂がたまり、木が生えている状況である。 また、大磯川については、土砂の量はさほどではないが木が生えている。 堀切川、大磯川は、ともに天井川のようになっており、大雨の際あふれると、久保柄地区と堀切地区に一挙に水が入ってくることとなる。 昨今の線状降水帯による大雨、台風のことを心配する住民は多いことから、堀切川、大磯川の土砂の浚渫を早期にお願いしたい。 【建設課】
回 答	河川の浚渫につきましては、市内 26 の河川について、国の国土強靱化対策による緊急浚渫事業債を活用して、令和 2 年度から 6 年度にかけて計画的に浚渫を実施しており、片浜区については、令和 3 年度に 4 本の河川（堀切川、ラムネ川、寺川、滝の川）の浚渫を実施いたしました。 堀切川の旧道から上流と大磯川につきましては、令和 6 年度に実施を予定しておりますので、現場の状況を確認しながら浚渫や河川内の木の伐採を実施してまいります。

令和5年度 市民トーク 片浜地区（7/18 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	3.堺川の治水対策について
内 容	大雨により堺川があふれ、堀切地区と鹿島地区の海岸沿いの畑への被害は何十年来の課題である。 市と片浜区会、県、堀切・鹿島の部農会等が3年ほど前から対策について協議を進めているが、現状遅々として進んでいない。 片浜区としては、この問題は継続して取り組む問題ととらえ、何らかの協議会を設置し粘り強く取り組んでいくことを考えている。 片浜区、堀切・鹿島の部農会としては、①川幅を広げる、②堀切川の畑の基盤整備事業を行う、③堤防下の出口の径を大きくするという3つの案は現実的ではないと認識している。また、鹿島の畑を東西に走る排水路と、堺川をつなげ勝間田川に逃がすという案も、鹿島地区の畑の地主から賛意を得ることは難しいと思われる。 そうなると、堤防南側に設置してある排水ポンプを高機能のものに変えるという対策が現実的ではないかと考えるが、市としての考え方、見通し等について伺う。 【お茶振興課】
回 答	堀切地区と鹿島地区の堺川を中心とした湛水問題については、両地区からの要望を受け、令和3年度から関係者の方々の協力もいただきながら、県事業において調査を行っております。 これまでに、900万円の調査費を投入し、本年度も300万円の調査費の割当てを受けております。 この調査事業は、3年計画で行われるものであり、1年目は地区全体の土地の高さと排水勾配等の現況調査を行い、2年目は勝間田川へ排水するルートを持つ鹿島側の排水対策の策定を行いました。 本年度は調査3年目に当たり、堺川の排水対策を策定する計画となっておりますので、引き続き関係者の皆様のご理解とご協力を頂

	き、計画策定を進めて行きたいと考えております。 また、ご提案のありました排水ポンプを高機能のものに変えるという案につきましても、今年度の計画策定の中で、堺川の堤防下断面の調査と合わせ、排水対策を策定してまいります。 今年度には、全体の排水事業計画が完成しますので、来年度以降早期の事業着手ができるよう、県に要望してまいります。
--	--